

『図書目録の発行』

今年の冬は全国的に厳しい寒さに見舞われ、東京にも13年ぶりの大雪が降りましたが、ようやく春らしい日射しとなって参りました。

発行を急いでおりました図書目録がいよいよ2月末に発行のはこびとなりました。これは本文約400ページで、昭和41年6月30日現在の図書の目録であり、土木図書館利用規程につづいて、和洋単行本、国際会議論文集、和洋雑誌のリストならびに土木図書館が収集に力を入れております土木工学関係の記録映画の所蔵フィルムリストがおさめられており、会員には600円でおわけ致します。

目録をご覧の上、土木図書館を皆様のご活動の上に十分ご利用下さいますようご案内申し上げます。

『非公刊資料の収集』

土木学会創立50周年記

念事業の一環として開設されました土木図書館は、和洋一般図書、雑誌、国際会議論文集等の整備に併行して関係各機関から発行されている非公刊の資料収集にも重点を置き、図書館の内容の充実をはかって参りました。ことに非公刊の資料は個人では入手が困難であり、またこれらの資料を閲覧するために各機関をまわるとは利用者にとっては時間のむだが多いことが予想されますので、これらの資料収集が完成しますとその意義は深いものと思われまます。

関係各機関におかれましては本図書館の意図するところをご賢察下さりご協力下さいますようお願い申し上げますとともに、会員の皆様におかれましてはいつそ本図書館をご利用下さいますことをおすすめ致します。

『他学会の図書館利用』

科学技術の進歩にともなって、一つの専門分野の研究調査活動が他の分野にもおよぶことがまれではなくなってきました。このような事態に対処するために、土木学会、電気学会、電気通信学会、日本化学会、日本機械学会、日本建築学会、日本鉄鋼協会、日本物理学会の会長懇談会が昭和40年に設けられ、お互いの会員の便宜をはかることが申し合わせられました。その申し合わせの一つとして図書館の相互利用が決められております。すなわち、土木学会の会員は上記の学会の図書館をその図書館の規程にしたがって利用することができるようになっております。本図書館と同様これらの図書館を有意義

にご利用下さい。

図 書 館 だ よ り

土木図書館運営委員会

【幹事 宮原 玄・渡辺重幸】

『図書館の入館料』

本委員会の調査によれば、学生の土木図書館の利

用率はかなり高い率を示していますが、その学生のなかには、会員でないために1回100円の入館料を納入している学生もいます。本委員会では、これらの学生の入館料について検討いたしましたが、会員の会費でまかなわれている図書館であり、会員を優遇するという建前から会員でない人の入館はたとえ学生でも1回100円の入館料をとるということが確認されました。無情のようですが、学会の図書館で勉強されたい学生諸君は、ぜひ学生会員になって入館料を“タダ”にした上に学会誌を読んで少しでもはやく土木屋らしくなってもらいたいという本委員会の委員の気持をくんで欲しいと思います。

『フィルム・ライブラリー』

昨年第2回目の国土開発映画コンクールが行なわれ、多数の参加作品(45件)があり、その入選作品はすでに会誌に掲載されましたので、大方の人はご承知のことと思います。入選作品については、参加された各機関のご好意で寄贈を受けることができ、フィルム・ライブラリーの所蔵本数も多くなってきました。本年度中に寄贈されたものおよび購入しましたものを紹介しますと；(1)若戸大橋、(2)えい智の結晶、(3)高潮に挑む、(4)第三の道路(第2部)、(5)砂防、(6)よみがえる川、(7)御母衣ダムの7本です。本年度整備されたものと合わせて本学会で所蔵しておりますものは、22本となりました。会員の方々のご利用を期待しております。

なお、フィルム・ライブラリーのことについては、次回の「図書館だより」で詳細に紹介する予定です。

従来、寄贈を受けましたフィルムは、管理費だけをわずかにいただいて借出しておりましたが、フィルムの維持、補充などを考えますと、あまりにも安く、先々このライブラリーを管理運営上問題となりますので、借出金額を3月1日より多少増額することになりました。なお、学校教育用の場合は半額で、会員の場合には2割引きで借出することにしております。